

オリコンサルHD

今期中にビジョン・中計

売上1000億突破も視野に

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは、グループとグループ各社の2030年に向けた新たなビジョン・中期経営計画を22年9月期内に策定する。具体的な数値目標などの検討はこれからだが、野崎秀則社長は「これまでの成長速度を緩めることなく、しっかりと投資し、基盤を強化してさらなる成長を実現したい」として、連結売上高1000億円の大台突破も視野に照準を定めていく考えだ。11月30日に開いた21年9月期決算説明会で明らかにした。



野崎社長

30年ビジョン・中計は、グループのキーコンセプトである「革新」「挑戦」「変革」を事業展開の柱に据える。野崎社長は「これから国内のインフラ事業でも部分最適ではなく全体最適が求められる。総合化が非常に重要になる」として、従来からの国内、海外あわせて10の重点化事業をさらに推進していくとしたほか、「受け身ではなく主体的

に自ら投資して事業を企画・実施していく」「DXでどれだけの価値をつくっていくことができるかがポイントになる」などと今後の取り組み姿勢を語った。また、「投資なくして成長もない」として、投資計画では前期に比べ、1割程度積み増す方針も示した。21年9月期の連結業績は、売上高、営業利益、純利益で過去最高を更新。営業利益は10期連続で増益となった。25年ビジョン・中計の目標値も4年前倒しで達成したため、さらなる成長に向け、25年9月期の目標値を売上高800億円、営業利益40億円に引き上げている。21年9月期の連結受注高は、前期に海外で超大型案件の受注があった反動で前期比19・1%減の約743億円となったが、受注残高は1560億円と着実に増加し、過去最高を更新。22年9月期では売上高700億円、営業利益34億円と、ともに過去最高の業績を計画している。

に自ら投資して事業を企画・実施していく」「DXでどれだけの価値をつくっていくことができるかがポイントになる

る」などと今後の取り組み姿勢を語った。また、「投資なくして成長もない」として、投資計画では前期に比べ、1割程度積み増す方針も示した。21年9月期の連結業績は、売上高、営業利益、純利益で過去最高を更新。営業利益は10期連続で増益となった。25年ビジョン・中計の目標値も4年前倒しで達成したため、さらなる成長に向け、25年9

月期の目標値を売上高800億円、営業利益40億円に引き上げている。21年9月期の連結受注高は、前期に海外で超大型案件の受注があった反動で前期比19・1%減の約743億円となったが、受注残高は1560億円と着実に増加し、過去最高を更新。22年9月期では売上高700億円、営業利益34億円と、ともに過去最高の業績を計画している。